

## MRJ の米国販売会社を設立

三菱航空機は、開発を進めている次世代のリージョナルジェット機、MRJ (Mitsubishi Regional Jet) の販売を促進するため、MRJ の最大市場である米州 (北中南米) の販売拠点として、米国テキサス州アディソン市に当社 100%出資の現地法人を設立し、11月1日から営業活動を開始する。

北米を含む米州は、リージョナルジェット機の世界最大市場であり、米州市場に密着した営業活動を継続的に展開することにより、MRJ を浸透させ、プレゼンスを高めることが現地販売拠点設立の目的である。具体的には、潜在顧客に対して時差のない密着した営業活動を継続的に展開し、受注営業・情報収集・広報活動の展開、信頼関係の構築、MRJ ブランドの浸透などを行なう。

当社社長の戸田信雄は、「リージョナルジェット機の最大市場である米州に販売拠点をもつことは、当社にとって大きな意味がある。米州で密着した営業活動を継続的に行うことで、多くのお客様と強い信頼関係を築き、MRJ をこれまで以上に浸透させ、環境、乗客、エアラインに対する従来にない新しい価値を理解頂き、多くの受注につなげていく」と述べた。

### ■新会社の概要

- 社名： Mitsubishi Aircraft Corporation America, Inc.
- 事業内容： 米州市場における MRJ の受注営業・情報収集・広報活動
- 事業開始日： 2008年11月1日
- 所在地： 米国テキサス州アディソン市
- 資本金： 70万米ドル
- 株主構成： 三菱航空機株式会社 100%出資
- 代表取締役社長： 滝 堅太郎 (現 営業部 調査役)

### 三菱航空機株式会社について

三菱航空機株式会社は、MRJ の設計、型式証明取得、調達、販売、カスタマー・サポートなどを担当する MRJ 事業会社として 2008 年 4 月 1 日に事業を開始した。現在の資本金は 700 億円で、三菱重工業が 67.5%を出資している。他には、トヨタ自動車 が 10%、三菱商事が 10%、住友商事が 5%、三井物産が 5%を出資している。

### MRJ について

MRJ は、三菱重工業がこれまで防衛・民間航空機分野で数多くの開発・製造を行うことで培ってきた、世界最先端の航空機開発・製造技術力をベースに当社が開発する世界最高レベルの運航経済性と客室快適性を兼ね備えた 70～90 席クラスの次世代リージョナルジェット機。リージョナル機として初めて主翼、尾翼に複合材を本格的に採用、新型エンジンの搭載や最先端の空力設計などにより、燃費の大幅な低減を実現、エアラインの競争力と収益力の向上に大きく貢献する。最先端の幹線機技術を適用し、次世代リージョナルジェット機のスタンダードを創造する、環境、乗客、エアラインへ従来にない新しい価値を提供する。

以上